

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2002-260424(P2002-260424A)

【公開日】平成14年9月13日(2002.9.13)

【出願番号】特願2001-58014(P2001-58014)

【国際特許分類】

F 2 1 V 8/00 (2006.01)

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

G 0 2 B 3/06 (2006.01)

G 0 2 B 5/02 (2006.01)

G 0 2 B 5/04 (2006.01)

G 0 2 B 6/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

F 2 1 Y 103/00 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 8/00 6 0 1 A

F 2 1 V 8/00 6 0 1 C

G 0 2 B 3/00 A

G 0 2 B 3/06

G 0 2 B 5/02 C

G 0 2 B 5/02 B

G 0 2 B 5/04 A

G 0 2 B 6/00 3 3 1

G 0 2 F 1/13357

F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月27日(2008.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 光源と、該光源に対向する少なくとも 1 つの側面を光入射面とし、2 つの対向する主面の一方を光出射面とする導光体と、該導光体の光出射面上に配置された光偏向素子と、該光偏向素子の出光面上に配置された光拡散素子とからなる面光源装置において、該光拡散素子が 2 つの対向する主面の一方を入射面とし他方の主面を出射面とするシート状物であって、入射面の平均傾斜角が 10 ° 以上であり、出射面の平均傾斜角が前記入射面の平均傾斜角より小さいことを特徴とする面光源装置。

【請求項 2】 前記光拡散素子の出射面の平均傾斜角が 3 ° 以下であることを特徴とする請求項 1 に記載の面光源装置。

【請求項 3】 前記光拡散素子の全光線透過率が 85 % 以上であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の面光源装置。

【請求項 4】 前記光偏向素子が、一方の表面に多数のレンズ列が並列して形成されたレンズ面を有し、該レンズ面が前記導光体の光出射面と対向するように前記導光体の光出射面上に配置されていることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の面光源装置。

【請求項 5】 前記レンズ面が、多数の断面略三角形のプリズム列が並列に形成されたプリズム面であることを特徴とする請求項 4 に記載の面光源装置。

【請求項 6】 2つの対向する主面の一方を入射面とし、他方の主面を出射面とする光拡散シートにおいて、入射面の平均傾斜角が  $10^{\circ}$  以上であり、出射面の平均傾斜角が前記入射面の平均傾斜角より小さいことを特徴とする光拡散シート。

【請求項 7】 前記出射面の平均傾斜角が  $3^{\circ}$  以下であることを特徴とする請求項 6 に記載の光拡散シート。

【請求項 8】 全光線透過率が  $85\%$  以上であることを特徴とする請求項 6 または 7 に記載の光拡散シート。

【請求項 9】 請求項 6～8 のいずれかに記載の光拡散シートを光拡散素子として使用したことを特徴とする映像表示素子。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決させるための手段】

本発明者等は、このような状況に鑑み、光拡散シートの出射面の平均傾斜角を小さくし、入射面の平均傾斜角を大きくすることによって、輝度の大幅な低下を最小限に抑え、出射光分布を制御し観察角度範囲を広げることができることを見出し、本発明に到達したものである。